

「スマート農業産地モデル実証（ローカル5G）」 公募開始！

【公募期間】令和4年6月1日（水）～令和4年6月30日（木）17時

「スマート農業実証プロジェクト」は、スマート農業技術（AI、ICT、高度なロボティクスなどの最先端技術を用いた技術）を実際に生産現場に導入し、農業経営への効果等を明らかにする実証事業です。

事業実施主体の農研機構において、実証地区の公募を開始しました。今回は、総務省の「令和4年度課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証」と連携し、**ローカル5G通信技術を用いて、作業集約又はシェアリング**によりスマート農業技術の効率的な活用に産地ぐるみで取り組む実証を公募いたします。

※総務省事業ではローカル5G基地局等の環境構築や電波伝搬試験等の実証を、農水省事業ではローカル5G通信環境下でスマート農業技術やその営農効果の実証を、それぞれ公募いたしますので、両事業にご応募ください。（審査により両省で**同一地区**を採択いたします。）

【応募をご検討の皆様へ】

- ・ 申請は、電子申請「e-Rad」のみです。「e-Rad」の登録手続に2週間程度要する場合や、切直前につながりにくくなる場合があります。電子申請の最後に「承認ボタン」を押し忘れ、応募できなかった事例がありますので、ご注意ください。

※ 「スマート農業産地形成実証」については、既に公募を終了しております。また、「戦略的スマート農業技術等の開発・改良」の2次公募は生物系特定産業技術研究支援センターより夏頃に、「ペレット堆肥活用促進のための技術開発・実証」は農研機構より6～7月頃に、それぞれ公募を予定しております。



公募要領等の詳細は、農研機構（実施機関）のサイトをご参照ください。



公募の概要を説明した動画を掲載しています。こちらをご覧ください。

スマ農 公募



お問い合わせ先 <農林水産省> 農林水産技術会議事務局研究推進課
☎03-3502-7437 E-mail : smart_agri@maff.go.jp
<農研機構> スマート農業事業推進室
E-mail : R4-Teishutsu@naro.affrc.go.jp